

樽病だより こころ

平成20年夏号
通算10号
発行
平成20年8月
市立小樽病院広報委員会
電話25-1211



八月一日、小樽潮陵高校の二年生と三年生の十二人が、当院でインターンシップ（職業体験）を実施しました。

当院では毎年、様々な学校のインターンシップを受け入れており、医療を志す学生さんたちの進学目標と職業観を育成するため、医療現場を体験する機会を提供しています。

潮陵高校からは今年度、薬局と放射線科、看護部への体験希望がありました。白衣に身を包んだ初々しい実習生たちは、初めて触れる現実の医療現場に緊張しながらも、生き生きとした表情をしていました。

薬局では院内で処方される薬剤が、どのように取り扱われるのかを見たり、抗ガン剤などの薬を調合したりする仕事を体験。放射線科ではMRIやCTといった高度な医療機械の操作を実体験しました。また看護部では患者さまの足を洗ったり、車椅子の移動介助をしたりするなど、実際の看護現場を体験したほか、先輩看護師との対話では、実際の進路の相談について活発に意見交換を行いました。

指導したスタッフは、この経験を通じて命を守る大切さに触れることにより、次の世代の医療を担う力になつて欲しいと願っています。

白衣を脱ぎ、病院を後にする生徒さんたちの後ろ姿は、はつらつとして、未来への希望に輝いていました。



薬局では待合室に、毎年七夕の飾りをしてい
ます。
今年も、患者さまやご家族の願い事が書か
れた短冊で、笹はいつの日かになりました。
皆さんの願いが、どろりかかいますように！

病院理念

良質の医療、信頼の医療を優しさと思
いやりをもって提供する病院

地域の中核医療を担う市立病院で働く
職員、医療人としての使命感を持ち協
調して行動する病院

基本方針

- ・ 科学的でかつ良質・効率的な医療の提供を目指します。
- ・ 医療の安全管理に最大の努力をはらいます。
- ・ 患者さまの満足度の向上に努めます。
- ・ 患者さまの権利を尊重し患者さま本位の人間味あふれる医療を行います。
- ・ 市立病院は市の行政施策のひとつとして存在することを認識し行動します。
- ・ 地域の医療機関や福祉施設等の連携等により地域完結型の医療を推し進めます。
- ・ 医療の使命に情熱を燃やす職員集団として日々研鑽に励みます。
- ・ 職種、診療科を超えたチーム医療に徹し病院の総合力発揮します。
- ・ 良質で安全な医療を提供するため経営健全化に努めます。

注射で痔を治す！ 一泊二日の内痔核治療

その1

外科医長 越前谷勇人

当院外科では、ライセンス医師により最新の内痔核治療をおこなっています。その内容について、担当医がご説明いたします。

痔核に悩みを抱える患者さまは非常に多いのですが、その治療法に関しては長い間大きな進歩は見られません。従来の坐薬・軟膏などによる保存的治療で限界がくると、手術的治療が行われてきました。愛護的治療である保存療法と、即効的治療である手術療法の長所を併せ持つ治療法がALTA注による4段階硬化療法といえます。このコラムでは、【内痔核症例に対する画期的治療戦略ーALTA注による4段階硬化療法】について数回にわたり皆さんに簡単に紹介します。連載の第1回目に当たる今回はALTA注による4段階硬化療法の概略についてお話しします。

I 内痔核の治療法の変化

内痔核に対する治療法はここ数年で大きな変ぼうを遂げました。

従来の手術法である結紮切除術（Ligation and excision）

法は、手術そのものは非常に有効であり現在でも症例によっては最善の治療法となり得ます。しかしながら

- (1)手術後の痛みが強いこと
- (2)出血の危険性が高いこと
- (3)腰椎麻酔を必要とすること
- (4)7日から14日間程度の入院期間が必要であること
- (5)入院（手術）費用が高いこと

などが問題とされてきました。これらの問題点を克服し、かつ治療効果的にも従来の手術法と同等以上の効果が期待できる画期的治療法が渴望されてきました。

II ALTA(アルタ)注の登場

そこそこさうと登場し最近注目されているのは、硫酸アルミニウムカリウムおよびタンニン酸を主成分とするALTA (Aluminum potassium tannic acid)注による4段階硬化療法です。ALTA注は1979年に中

しようじれい

国で開発された「消痔靈」を基に、日本で配合剤の一部を変更し2004年に承認された新規内痔核治療薬です。この治療法が従来の手術療法と決定的に異なるのは、出血を伴う切除手術ではなく注射による治療法であるということです。特に脱出や出血に対する効果は絶大で、内痔核治療法研究会をはじめとして各種学会等で従来の結紮切除術であるLE法と比較検討され、LE法と同等ないしそれ以上の効果が保障されています。

III 注目の治療法「四段階硬化療法」の特徴

ではALTA注による四段階硬化療法は従来法とどこが違うのでしょうか？上記5点について具体的に見ていきましょう。

- (1)手術後の痛み：ALTA注による四段階硬化療法では切除が不要です。従って切除に伴う痛みはありません。
- (2)出血の危険性：切除術ではなく注射による治療なので出血の危険性は低くなります。

クリニカルパスについて



クリニカルパスとは、患者様が入院中に受ける治療やケアの標準的な内容を分かりやすくまとめた予定表で、患者さまが入院してからの治療の内容、検査や食事、退院後の留意点などを、一日ごとに詳しく説明しているものです。

現在クリニカルパスは、国内はもとより、世界各国の医療機関で活用されており、当院においても二年半ほど前からクリニカルパスについて検討する専門の委員会を立ち上げ、きめ細やかな医療の実現に向けて取り組んでいるところです。

クリニカルパスが注目されている理由として、以下のような利点があります。

まず、患者さまの側からの利点として、クリニカルパスを活用することにより、患者さまが入院中の治療内容やスケジュールを把握することができるといった点が挙げられます。

また、このパスを患者さまと医療スタッフが共有することで、コミュニケーションを取りやすくなり、信頼関係を築きやすくなります。

病院にとっての利点としては、主に担当医による治療のばらつきが少

- (3) 麻酔：当院では局所麻酔で行っていますので、手術直後より歩行ができます。
- (4) 入院期間：当院では一泊二日の入院を原則としています。
- (5) 入院（手術）費用：手術費用は従来法（診療報酬5,360点の約1/2）同2,800点、また入院期間が最大で1/7程度に短縮されますので当然入院費用は安くなります。

IV 一泊二日のクリニカルパス

当院では、一泊二日のクリニカルパスを作成しALTA注による**四段階硬化療法**を行っています。このように、ALTA注による**四段階硬化療法**は薬剤による愛護的側面と手術的治療の即効的側面さらには対費用効果的側面を併せ持ち、それぞれの短所をも補い得る画期的治療法といえます。しかしながらすべての内痔核症例がこの治療法の適応になるわけではありませんし、適応の禁忌（投与してはいけない症例）もあります。また医療機関であればどこでもこ

の治療を受けられるわけではないのです。幸いなことに当院にはライセンスを与えられた医師が在籍していますので、ALTA注による**四段階硬化療法を安全に受けられます**。

次回からは今回触れることのできなかつた治療のメカニズムや実際の手術（注射）手技などを踏まえ、このすばらしい治療法についてももう少し具体的にお話ししていきます。

なくなり、患者さまに対するインフォームドコンセントの充実を図れる点が挙げられます。

なおパスの内容は、疾患ごとの標準的な治療経過を基に作成されているものですので、病状により内容が変わることがあります。

今回の特集にある内痔核の治療についても、当院ではクリニカルパスを作成して患者さまに分かりやすく説明することにより、安心して治療が受けられるよう活用しています。



健康のはなし

漢方薬よもやまばなし2

（内科医長 木曾田 理絵）

前回は、風邪と漢方薬についてお話ししました。今回は、漢方の基本となる考え方について書きましよう。まず体を気・血・水から成ると考え、そのバランスの崩れを整える様に処方組

み立てていきます。ほかにも体の冷えや熱、体力の程度なども加味して考えていきます。西洋医学の場合は、まず診断をつけ



て診断名にあわせて薬を選びますが、漢方の場合には、同じ診断名であっても、その人の体質やその時々々の体の状態を見て薬を選ぶので、診断名が同じであっても、薬が違ってくるのです。西洋医学は戦場の医学、怪我や感染症といった緊急事態を救うために進歩してきた面があり、その有効性は非常に高いといえます。一方、東洋医学は、健康でバランスのとれた状態から、ずれが生じる段階からそれを整えるという考えで、発展してきました。このバランスを診ていく方法にはメリットもありま

す。症状はあるのに、西洋医学では異常なしといわれる場合など、東洋医学としてはバランスの崩れが認められるのに画像や数値としては変化がでてこないために、そういうことが起こりえます。漢方薬が効く場合がありますので、西洋医学では説明の付かない症状があつてお困りの場合に東洋医学の門をたたいてみるのも一考と思います。

木曾田医師の外来診療は
火曜日、水曜日、金曜日です。

「認定感染管理看護師」が誕生しました。

近年、医療が高度で専門化し、特定の分野において熟練した看護技術と知識を用いた、質の高い看護ケアが求められています。

そのような時代の要請を受けて日本看護協会が設立した、特定の看護分野のスペシャリストの資格が「認定看護師」です。この認定看護師は現在、十七の専門分野にわたっており、このたび当院に誕生したのが「感染管理認定看護師」です。

当院では、認定看護師の資格取得を支援しており、現在も『皮膚・排泄ケア』と『緩和ケア』の分野の資格を取得すべく、二人の看護師が教育課程を受講中です。

《感染管理認定看護師 森山洋子》

こんにちは！

日本看護協会認定試験に今年六月に合格し、新米の感染管理看護師となりました森山です。

近年、テレビや新聞などのニュースで報道される「医療関連感染」から皆さんをお守りすることが私の仕事です。七月からは、院内感染防止対策委員の任命を受け、活動を始めました。

普段は手術室に勤務していますが、毎週月・金の午前中の活動時間には、細菌検査室との連携を取ったり、実際に現場を訪問したり、スタッフの感染対策のため、院内を歩き回っています。また、感染対策の相談も受け付けています。

まだまだ微力ではありますが、良質と信頼の医療を支える縁の下の力持ちでありたいと思っています。

ごきげんよう！と願っています。

「ハチ刺され」や「エピペン」



ご存知ですか？

（皮膚科 立石 八寿貴）

「ハチ刺され」

夏は海や山などに出かけることも多く、皮膚のトラブルに遭遇する機会も増えます。そこで今回はハチ刺され（ハチ刺症）についてご紹介したいと思います。

ハチ刺症では刺された直後に痛みや腫れを生じますが、軽症の場合は患部の冷却や軟膏治療で症状は改善します。一方、何回も刺されているとアレルギー反応が生じることがあります。その場合は動悸、胸やけ、吐き気などの気分不良のほかじんましん、血圧低下、呼吸困難などのアナフィラキシーという症状が見られます。アナフィラキシーを起こした場合は生命にかかわることもあり、一刻も早く病院での治療が必要です。実際、ハチに刺されてアナフィラキシー症状により死亡する例も出ています。

「エピペン」のご紹介

ハチ刺症によるアナフィラキシー症状を緩和するための自己注射器（商品名：エピペン）が

医師の処方により携帯できるようになりました。主成分はアドレナリンで、初期症状の発現後、ショック症状が発現する前に注射します。アナフィラキシーの徴候や症状を感じた時に速やかに注射すると、症状を軽減させる効果があります。エピペンの使用対象者は、ハチ刺症によるアナフィラキシーの既往のある人やアナフィラキシーを発現する可能性の高い人です。過去にハチ刺症でアナフィラキシーを起こしたことがある方は、日常からエピペンを携帯してはいいでしょうか。

「エピペンの購入方法」

- ① 入手するためには、エピペン処方医師に登録された医師のいる医療機関で診察を受けることが必要です。
 - ② 費用は診察料込みで15000円＋税程度です。
- エピペンに関しては皮膚科までご相談ください

エピペンはアナフィラキシーの補助治療薬



ホームページから「お見舞いメール」をお受けします

当院に入院されている方へお見舞いのメールをお届けいたします

入院中のご家族やご親戚、ご友人の患者さまへ、お見舞いのメールをお受けしていただきます。お見舞いメールは当院ホームページからになりますので、注意事項をご承諾の上ご利用ください。

ホームページのトップページ
ここになります。



「潮ねりこみ」に参加しました (2008.7.26)



例年参加している潮ねりこみに今年も「小樽病院・第二病院優患連合」として参加。七月二十六日当日総勢およそ140人が街を練り歩きました。

恒例の出発前のお披露目では、病院前の駐車場で潮音頭に合わせてドンドコザブーン。患者さまも手拍子をしながらいっしょに参加してくださいました。

